

平成 28 年度事業報告



社会福祉法人 双樹会

目 次

法人本部	2
事業所別実績報告	
特別養護老人ホーム 陽光の家	5
陽光の家 短期入所生活介護	13
陽光の家 通所介護事業所	14
陽光の家 訪問介護事業所	17
陽光の家 居宅介護支援事業所	19
広島市城山・五日市観音地域包括支援センター	21

【取り巻く環境】

「社会福祉法等の一部を改正する法律」が、平成 28 年 3 月 31 日第 190 回通常国会にて成立し、同日公布された。平成 28 年度は、平成 29 年 4 月施行予定の変更事項に対応するため、定款変更・評議員選任解任委員会の設置・新評議員の選任・社会福祉充実残高算定及び財務諸表等電子開示システム運用準備の対応を行った。

介護人材処遇改善では、平成 29 年度よりキャリアアップの仕組みを構築し、月平均 1 万円相当の処遇改善を実施するため、臨時に 1.14%の介護報酬改定が行われることとなった。広島市では、介護予防時サービスが、平成 29 年 4 月から 1 年間をかけて「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行することとなった。

法人本部

1. 社会福祉法等の一部を改正する法律(平成 28 年法律第 21 号)の施行にともなう定款変更

平成 28 年 12 月 26 日付申請 平成 29 年 1 月 24 日広島市長 認可

2. 役員の状況及び理事会・評議員会・監査の開催状況

平成 29 年 3 月 24 日付で中村英雄理事長が、平成 29 年 3 月 31 日付で天田猛理事が、任期途中で辞任することとなった。3 月 25 日に実施した第 3 回評議員会において理事の補選を行い、中村貴志理事並びに松井誠理事を選出。引き続き行われた第 3 回理事会において、中村貴志理事が新理事長に選出された。

【理事会】

回	日時	場所	議案	出席状況 上段:理事 下段:監事
1	H28.5.28 14:30～	ナカムラ病院 研修室	(1) 平成 27 年度事業報告(案)について (2) 平成 27 年度決算(案)について	5/6 2/2
2	H28.12.17 14:20～	ナカムラ病院 研修室	(1) 定款変更について (2) 評議員選任・解任委員会の設置について (3) 新評議員の推薦について (4) 国有財産売却における一般競争入札について	5/6 2/2
3	H29.3.25 14:40～	ナカムラ病院 研修室	(1) 理事長の互選について (2) 施設長の任命について (3) 平成 28 年度第 1 回補正予算(案)について (4) 平成 29 年度事業計画(案)について (5) 平成 29 年度予算(案)について	6/6 2/2

【評議員会】

回	日時	場所	議案	出席状況
1	H28.5.28 13:30～	ナカムラ病院 研修室	(1) 平成 27 年度事業報告(案)について (2) 平成 27 年度決算(案)について	12/13
2	H28.12.17 13:30～	ナカムラ病院 研修室	(1) 定款変更について (2) 国有財産売却における一般競争入札 について	11/13
3	H29.3.25 13:30～	ナカムラ病院 研修室	(1) 平成 28 年度第1回補正予算(案)につ いて (2) 平成 29 年度事業計画(案)について (3) 平成 29 年度予算(案)について (4) 理事の補選について	11/12

【評議員選任・解任委員会】

回	日時	場所	議案	出席状況
1	H29.3.25 13:00～	ナカムラ病院 研修室	新評議員 7 名の選任について	3/3 理事 1 名

1. 監査

(1) 法人内監査

日時：平成 28 年 5 月 17 日 午前 10 時より

場所：特別養護老人ホーム 陽光の家 会議室

監査資料：事業実績報告書、収支計算書、事業活動計算書、仕訳伝票、預金残高証明書及び預金通帳、貸借対照表、財産目録、総勘定元帳

(2) 平成28年度社会福祉法人及び施設指導監査について

日時：法人本部 平成 28 年 11 月 21・22 日 10:00～16:00 広島市監査指導室 4 名

陽光の家(特養) 平成 28 年 11 月 22 日 10:00～16:00 広島市高齢福祉課 2 名

文書指摘事項なし

2. 施設整備等

時期	内容	場所	金額
7 月	非常用発電機	特養	3,888,000 円
9 月	家庭用冷蔵庫(1台)	〃	132,624 円
2 月	自動ポータブルトイレ(2台)	〃	259,200 円
3 月	軽自動車 車椅子移動車	〃	1,510,000 円
合計			5,789,824 円

3. 職員研修実施状況

(1) 施設内研修一覧

日付	研修名	講師・発表者	人数
8/26	中国地区老人福祉施設研修大会報告	特養相談員・介護職・通所PT	18
	事例発表「ともだち100人できるかな」(特養)	特養 介護職	
	事例発表「すこしでも事故前の生活に近づくために」(通所)	通所 介護職	
11/24	「地域コアリーダープログラム」研修報告	通所 機能訓練指導員	25
	事例発表「インフォーマル支援が強く過ぎて、本来のケアマネジメントが困難だった事例」(居宅)	居宅 介護支援専門員	
12/8	高齢者虐待防止、身体拘束防止について	特養 介護職 包括 社会福祉士	18
2/14	事例発表「ポンポンよ、出て来てよ」(特養)	特養 介護職	23
	事例発表「高齢者地域支え合い事業」(地域包括)	包括 社会福祉士	
3/17	メンタルヘルスとモチベーションアップ	部外講師	20
日	研修名	講師	人数
5/13	コミュニケーション研修「交流分析と対人関係能力」	外部講師： ㈸コンサルティングブレイン 縫部 毅 氏	9
	人事制度研修(5/19,6/16)		61
9/15	考課者研修		8
9/29	コミュニケーション研修「受容的態度」		15
	コミュニケーション研修「共感的理解の重要性」(11/17,12/15)		48
2/16	考課者研修「人事考課を育成につなげる目標設定」		9

(2) 施設外研修受講一覧(抜粋)

時期	研修名	実施機関	人数	職種
通年	広島市認知症介護実践研修「実践者研修」	広島市老人福祉施設連盟	6	特養 介護 通所 介護 訪問 ヘルパ
10~12月	介護福祉士実務者研修	穴吹カレッジサービス	4	特養 介護 通所 介護
6/24	施設サービス計画研修会	広島市介護保険課	1	特養 介護
7/7	接遇マナーとコミュニケーションスキル	広島市老人福祉施設連盟	1	特養 介護
8/29~9/3	認知症介護者フォローアップ研修	認知症研究・研修仙台センター	1	特養 介護職主任
8/9~10	中国地区老人福祉施設研究大会	中国地区老人福祉施設協議会	3	特養 相談員、介護 通所 PT
11/18	高齢者虐待防止の取り組み	広島県地域包括ケア推進センター	1	特養 介護
11/28~29	平成28年度中国ブロックカンントリーミーティング	中国地区老人福祉施設協議会	2	特養 介護 通所 相談員
1/13	施設・居住系サービスにおける看取り	広島県介護支援専門員協会	1	特養 看護主任
1/31	医療的ケア教員講習会	広島市老人福祉施設連盟	2	特養 看護
2/16	メンター養成研修	広島県社会福祉協議会	1	特養 介護
1/27	平成28年度給食施設従事者講習会	広島市保健所	1	特養 管理栄養士
9/26~27	機能回復訓練研修	広島市老人福祉施設連盟	1	通所 介護
1/13~4/26	平成28年度広島県介護支援専門員実務研修	広島県社会福祉協議会	2	通所 介護
10/25	社会福祉施設「労働災害防止講習会」	廿日市労働基準監督署	1	事務長
2/23	水害・土砂災害への備え等に関する説明会	広島県健康福祉局・土木建築局	1	事務長
5~7月	平成28年度広島県介護支援専門員更新・専門研修Ⅰ	広島県介護支援専門員協会	2	居宅・包括 介護支援専門員
7~9月	平成28年度広島県介護支援専門員更新・専門研修Ⅱ	広島県介護支援専門員協会	2	居宅・包括 介護支援専門員
6/21	平成28年度第1回ケアプラン点検研修	広島県医療介護保険課	1	居宅 主任介護支援専門員
6~2月	佐伯区ケアマネジャー自主勉強会	佐伯区ケアマネジャー自主勉強会世話人	8	居宅 介護支援専門員
2/132/24	介護予防ケアマネジメント従事者研修	広島市介護保険課	1	居宅 介護支援専門員
6~3月	ケアマネ事例検討会	広島市城山・五日市観音地域包括支援センター	7	居宅 介護支援専門員
12/1~2/14	平成28年度広島県主任介護支援専門員更新研修	広島県介護支援専門員協会	2	居宅 包括 主任介護支援専門員
7/13,14	平成28年度地域包括支援センター初任者(基礎)研修	中国ブロック地域包括・在宅支援協議会	1	包括 保健師
9/13,14	地域包括・在宅介護支援センター リーダー職員研修	全国地域包括・在宅支援センター協議会	1	包括 センター長
10/18,19	平成28年度地域包括支援センター職員現任者研修	中国ブロック地域包括・在宅支援協議会	1	包括 社会福祉士
12/16,17	地域ケア会議について考える	中国ブロック地域包括・在宅支援協議会	2	包括 社会福祉士 主任介護支援専門員
11/25	あんしんサポートリーダー(地域支え合い推進員)研修	広島県社会福祉協議会	1	包括 主任介護支援専門員
2/24	平成28年度介護予防ケアマネジメント従事者研修	広島市介護保険課	2	包括 主任介護支援専門員 社会福祉士
2/3	地域包括ケアマネジメント研修会	広島市地域包括ケア推進課	5	包括 主任介護支援専門員他
3/30	第2回居宅介護支援事業者研修会	広島市市域居宅介護支援事業者協議会	4	包括 主任介護支援専門員他

事業所別実績報告

1. 特別養護老人ホーム 陽光の家

I. 入所者の状況

(ア) 年間入所者の推移

28年度は、退所者10名・入所者8名、平成29年3月31日現在、在籍47名うち1名入院、46名在所で終了した。退所者の内訳は、死亡退所4名(3名が施設において死亡、1名は病院にて死亡)、長期入院による退所6名となり、前年度対比10名減。延べ利用者数は、特養入所者17,595名、空床655、内204を短期入所として利用、合計17,799名で前年度より24名減。稼働率は、97.5%で前年度0.1%増加、1日当たり48.8名が利用したこととなった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月末在籍数	50	50	50	50	49	50	50	50	49	50	48	47	
入所	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	8
退所	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4	2	10
延べ利用者数	1,463	1,472	1,470	1,542	1,513	1,457	1,501	1,492	1,544	1,498	1,245	1,398	17,595
空床利用	3	19	6	3	0	11	8	0	0	31	39	84	204
合計	1,466	1,491	1,476	1,545	1,513	1,468	1,509	1,492	1,544	1,529	1,284	1,482	17,799
28年度	97.7	96.2	98.4	99.7	97.6	97.9	97.4	99.5	99.6	98.6	91.7	95.6	97.5
1日平均実績	48.9	48.1	49.2	49.8	48.8	48.9	48.7	49.7	49.8	49.3	45.9	47.8	48.8
前年度実績	1,458	1,458	1,451	1,527	1,490	1,461	1,511	1,492	1,531	1,516	1,433	1,495	17,823
対比	8	33	25	18	23	7	▲2	0	13	13	▲149	▲13	▲24

入退所10名の退所日から次入所までの日数は延べ124日で1名当たり12.4日となり、27年度10.2日より2.2日長くなった。

(イ) 要介護度別利用者人数(1日平均)

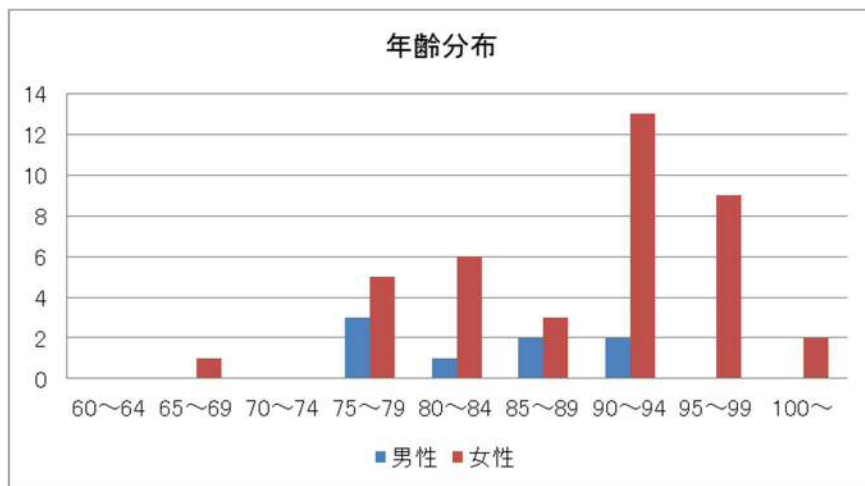
平成28年3月末現在、47名の入所者のうち36名が要介護4以上。要介護3未満の特例入所者が3名在籍する。年間平均介護度は、4.08で前年より0.02低くなった。

	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計	平均介護度
28年度	0.1	2.5	9.2	18.6	18.4	48.8	4.08
前年度	0	3.2	8.1	18.5	18.9	49.0	4.10
対比	0.1	▲0.7	1.1	0.1	▲0.5	▲0.2	▲0.02

(ウ) 入所者年齢別及び平均年齢(平成29年3月末日現在)

男性と女性の入所人数は、男性8名・女性41名。平均年齢は、87歳3ヶ月から88歳7ヶ月へ、最高年齢者は、101歳から102歳となった。

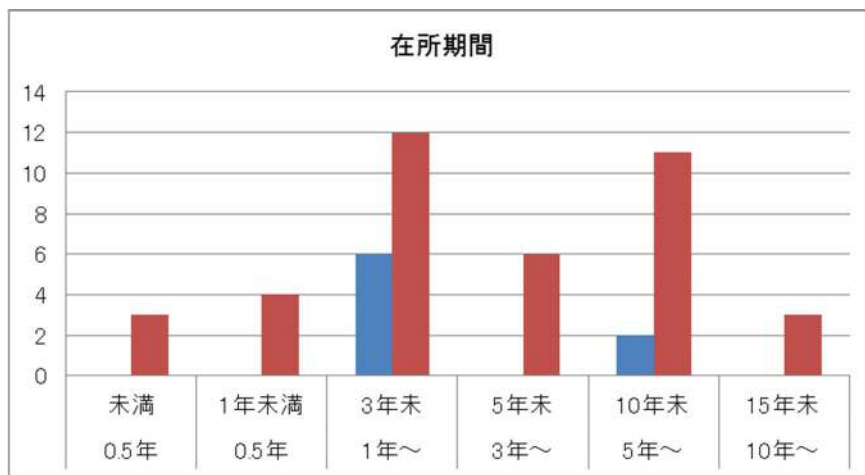
歳	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男性	0	0	0	3	1	2	2	0	0	8	84歳10ヶ月
女性	0	1	0	5	6	3	13	9	2	39	89歳5ヶ月
合計	0	1	0	8	7	5	15	9	2	47	88歳7ヶ月
最高年齢	102歳		最少年齢		66歳						



(エ) 入所者在所期間（平成 29 年 3 月末日現在）

年度末在籍者の平均在所期間は、前年度の平均在所期間 3 年 2 ヶ月から 3 年 10 ヶ月へ 8 ヶ月延びた。最長在所者は前年と同一で、男性 9 年 2 ヶ月・女性 13 年 1 ヶ月となった。

期間	0.5年未満	0.5年1年未満	1年～3年未	3年～5年未	5年～10年未	10年～15年未	合計	平均
男性	0	0	6	0	2	0	8	3年6ヶ月
女性	3	4	12	6	11	3	39	3年11ヶ月
合計	3	4	18	6	13	3	47	3年10ヶ月
最長在所	13年1ヶ月		最短在所		1ヶ月			



(オ) 保険者別人数（平成 29 年 3 月末日現在）

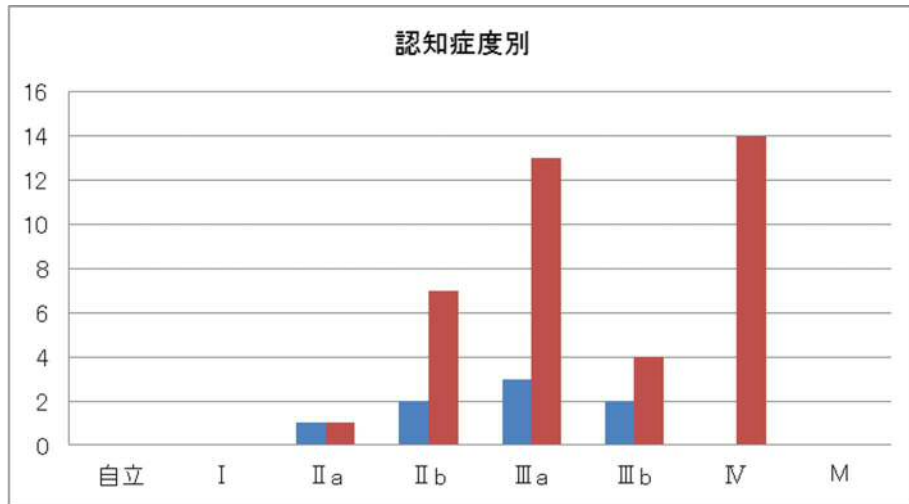
前年同日と比べ佐伯区▲3 名、南区・廿日市市・大崎上島町に各 1 名が新たに加わり、上関町と山口市が各 1 名減少した。佐伯区の占有率は 72.3%。

保険者	佐伯区	西区	中区	南区	安佐南区	廿日市	大崎上島	山口市	合計
男性	6	1	0	0	0	0	0	1	8
女性	28	5	1	1	2	1	1	0	39
合計	34	6	1	1	2	1	1	1	47

(カ) 認知症度別人数（平成 29 年 3 月末日現在）

下記の表のとおり、47 名の入所者のうち 36 名が認知症度Ⅲ以上。前年比Ⅲ以上▲2 名となった。

認知症度	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男性	0	0	1	2	3	2	0	0	8
女性	0	0	1	7	13	4	14	0	39
合計	0	0	2	9	16	6	14	0	47



(キ) 入所申込者の状況

平成 29 年 3 月末日の申込者数は 273 名。平成 28 年度 1 年間の申込者数は 59 名、取下げが 126 名であった。申込者の介護度分布は下表のとおり。

介護度	1	2	3	4	5	合計
平成28年3月末	30	66	87	86	71	340
平成28年度申込数	8	8	14	17	12	59
平成28年度取下げ数	18	20	26	35	27	126
平成29年3月末	20	54	75	68	56	273

II. 職員の状況

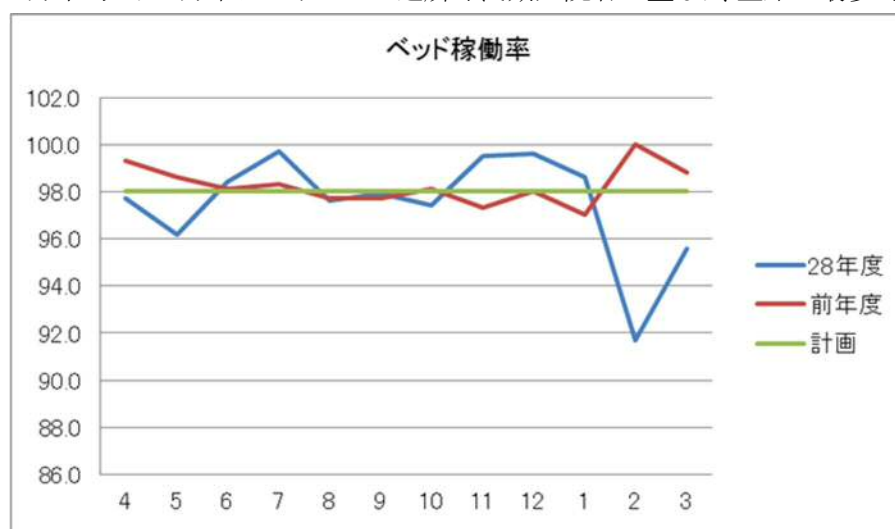
実数では、期首と期末は同数、看護・介護で各1名減、調理員が2名増加。

特養・短期入所 職種	平成28年度期首(4月)			H28年度期中		平成28年度期末(3月)			配置 基準	
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算		
施設長	1	0	1.0	0	0	1	0	1.0	1	
医師	1	1	0.1	0	0	1	1	0.1	1	
生活相談員	1	0	1.0	0	0	1	0	1.0	1	
介護支援専門員	0	0	0.5	0	0	0	0	0.5	1	
機能訓練指導員	1	0	1.0	0	0	1	0	1.0	1	
看護職	5	1	3.7	1	2	4	1	3.3	2	
内 訳	正看護師	1	0	1.0	1	0	2	1	1.6	介護・看護
	准看護師	4	1	2.7	0	2	2	0	1.7	
介護職	25	7	22.6	2	3	24	6	21.3	17	
内 訳	介護福祉士	17	4	15.5	2	3	16	4	14.1	
	その他	8	3	7.1	0	0	8	2	7.2	
管理栄養士	1	0	1	0	0	1	0	1	1	
調理員	4	1	3.6	5	3	6	4	3.5		
当直専門員	3	3	1.5	0	0	3	3	1.5		
事務員	3	1	2.7	0	0	3	1	2.7		
小計	45	14	38.7	8	8	45	16	36.9		

III. 平成28年度事業計画の実施状況について

- ベッド稼働率 98%・・・実績 97.5%

1月下旬より3月末にかけて死亡退所や長期入院者が重なり、空床が最多時5ベッドあった。



① 腰痛予防(抱えない介護の実践)

- ・ 介護機器・福祉用具の活用実践
リフト利用者 3名 スライディングボード利用者 6名
- ・ 全職員の日常的に抱えない介護の実践
日常業務実施 31名 直接処遇職員中 リフト使用 10名 スライディングボード使用 25名

② 個別ケアの実践

- ・ 多職種協働でのアセスメント
- ・ ICFストレングス視点でのケアプラン作成
年間 20名実施
- ・ カンファレンスの定例開催
年間 18件実施 後期末開催の月があった。
- ・ 専門職の専門性の向上のための研修・勉強会の実施

特養勉強会 テーマ	実施日	参加人数
特養事業計画説明会	4/4,5,8,11	21
食事と口腔ケア	5/27	9
排泄ケア	6/21	9
施設ケアプラン研修	6/20,22	13
入浴ケア	7/22	9
認知症ケア	8/16	7
ターミナルケアについて	10/28	2

- ・ 家族及び家族会活動との連携

入所者に変化が起こった時の連絡・報告はもちろんのこと、日常生活状況や健康状態の連絡については、毎月1回利用請求時に、担当介護職・看護職・機能訓練指導員・栄養士からの状況報告(「ようこうファミリー」)を個別に作成し報告している。家族会活動は、家族会総会で承認を受けた事業計画に沿って下表の行事を実施した。

月日	行事	家族参加数
4.17(日)	家族会総会	24人
5.21(日)	開設記念日(28周年)	30人
5月～7月	買物外出	4人
7.30(土)	夏祭り	60人
9.11(日)	敬老会	44人
12.10(土)	もちつき・忘年会	53人

③ 人材育成 定着

- ・ キャリア段位の活用
アセッサー4名中2名が1名ずつ担当し、実施。勤務調整が難しく、年度内のレベル認定に至らず。引き続き29年度実施。
- ・ 平成28年9月メンター制度導入。新人定着プログラム 介護「100日プログラム」を新人職員1名実施

④ 地域貢献

- ・ 地域敬老会 9/23 五日市観音西小学校・五日市観音小学校
参加入所者 4名 家族 1名 職員 4名
協力： 地域住民送迎、五日市観音中学校吹奏楽部楽器搬入
- ・ 地域交流の取り組み
地域三世代交流「第1回文化と健康フェスティバル」 11/20 場所 五日市観音小学校
入所者6名 家族5名 職員9名 地元芸能ステージ(施設芸能) 参加
- ・ 介護教室開催 介護相談開催
平成28年度広島市受託家族介護教室として、以下のとおり開催。
日 時： 平成28年8月27日(土) 10:00～12:00
場 所： 観音台公民館
内 容： 「自立した排泄ケアの実践」～自立した排泄を継続してゆくための支援～
講 師： 特別養護老人ホーム陽光の家 介護福祉士
事業者 福祉用具専門相談員
参加者： 12人
- ・ 防災連携の取り組み(福祉避難所の設置など)
- ・ ボランティアの受け入れ

【定期】 団体・個人

活動	部署	活動日時
生花クラブ	特養・通所	毎月 1回
フラワーアレンジメント	通所	毎月 第3金曜日
書道クラブ	通所	毎月第4火曜日
話し相手・歌など	特養	毎週火曜日
外出支援	特養	4月～7月 毎月1回

【園芸】 団体・個人

来園日	内容
5/21(開設記念)	歌・踊り
8/25	落語
10/13	歌・踊り
10/17・12/20	大正琴
12/23	歌・踊り

・ 実習生の受け入れ

	実習依頼元	実習期間	人数	備考
1	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	H28.11.14～H28.12.10	2	相談援助実習 保育社会福祉学科3年
		H28.9.5～H28.10.7	1	介護福祉士2年
2	IGL健康福祉専門学校	H28.10.17～H28.10.29	1	介護福祉士1年
		H28.11.7～H28.11.19	2	社会福祉現場実習 介護福祉士2年
合計		2団体	6	人

IV. 食事(栄養・調理)実施状況

栄養ケアプランは、カンファレンス等で情報共有しその都度食事への反映を行い、利用者本人や家族への説明を行った。これにより、利用者本人や家族および介護職から、より多くの食形態変更の希望が寄せられるようになった。また、食を通してコミュニケーションを図るように季節感のある食事の提供を行った。

(ア) 食事形態 (平成 29 年 3 月 31 日 現在)

食事形態	常食	キザミ	極キザミ	ペースト	経管栄養
食事数	8	17	7	11	3

(イ) 年間療養食加算取得状況

	貧血食	糖尿病食	心臓病食	腎臓病食
実人数	11	6	1	3
延べ日数	2,807	1,067	365	667

(ウ) 栄養年報

区分/栄養量	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA IU	ビタミンB1 mg
栄養所要量	1,518	51.6	33.5	617	6.1	675	0.9
栄養摂取量	1,422	60.5	37.1	578	7.1	550	0.77

栄養所要量(計画) 栄養摂取量(実績)

(エ) 行事食等

内容		実施日	内容		実施日
開設記念日	ケーキバイキング	5/21	忘年会	餅つき	12/10
土用の丑の日	うな重	7/31	新年互礼会	松花堂弁当	1/1
夏祭り	バイキング	7/30	新年	雑煮	1/2
敬老会	松花堂弁当	9/11	節分	巻きずし	2/3
お彼岸	おはぎ	3/21	雛祭り	雛様寿司	3/3

V. 防災訓練等

(ア) 自衛消防訓練実施状況

実施日	訓練内容	参加者				備考
		入所者	通所	職員	計	
6.22	総合訓練(夜間想定)	35	0	17	52	消防職員・2名立会
11.7	総合訓練(夜間想定)	28	4	13	45	〃

(イ) 非常食備蓄状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

種類	水	主食			副食	
		ご飯	粥	パン(缶)	レトルト食品	缶詰
数量	20×300 本	190 食	184 食	24 食	290 食	150 食

職員・協力者用別途備蓄 90 食

VI. 広島市受託事業

生活指導短期宿泊事業は、利用者なし。

受託業務名	実績金額	実利用者	延べ利用者
広島市重度身体障害者入浴サービス事業	333,350	2	101
広島市生活指導短期宿泊事業	0	0	0

VII. クレーム対応・・・平成 28 年度は、苦情報告なし。

VIII. 医療機関受診事故・・・1 件

平成 28 年 12 月 25 日(日) 7:20 頃発生。要介護4 89 歳 女性。

ベッド横のポータブルトイレで排尿。そこからうまく立ち上がれず転倒。様子観察するも午後から腫れ、熱感、痛みの訴えあり。翌日家族にて病院受診。以前の大腿骨頸部骨折の際の人工関節の人工骨が他の骨に刺さっていることが判明。そのまま入院となる。

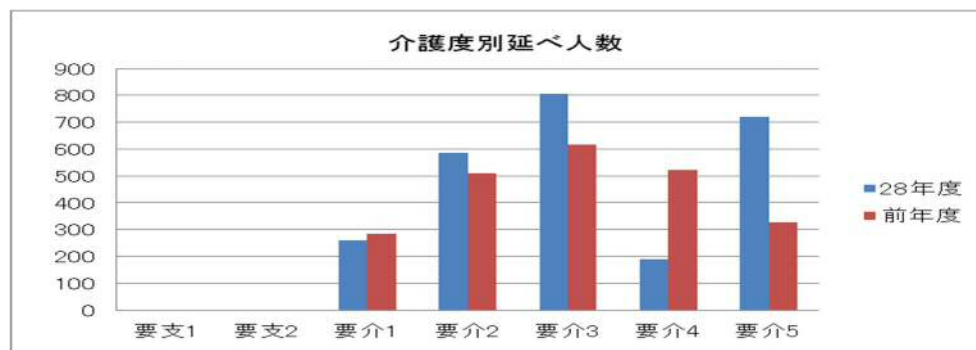
平成 28 年 12 月 28 日 広島市報告

2. 陽光の家 短期入所生活介護事業所

I. 利用者の状況

28年度は、新規契約者 22名 廃止 14名 月平均実利用者は、31.1名、前年対比 0.3名減。延べ利用者数の前年対比は 297名増加。

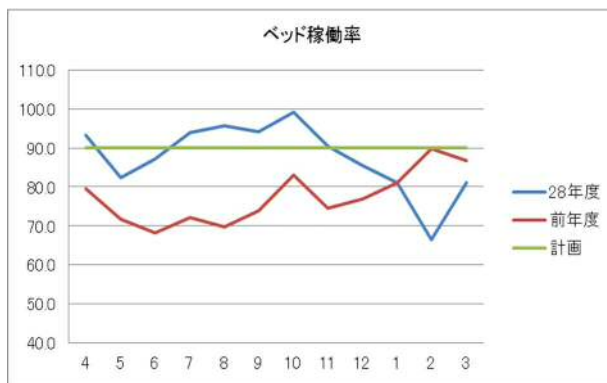
介護度	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計	平均		
									介護度	実利用者	稼働率
28年度	0	0	258	587	805	189	720	2,559	3.2	31.1	87.5
%	0.0	0.0	10.1	22.9	31.5	7.4	28.1	100			
前年度	0	0	285	511	616	523	327	2,262	3.0	31.4	77.3
%	0.0	0.0	12.6	22.6	27.2	23.1	14.5	100			
対比	0	0	▲ 27	76	189	▲ 334	393	297	0.2	▲ 0.3	10.2



II. 平成 28 年度事業計画の実施状況について

● ベッド稼働率 85%・・・実績 87.5%

ベッド稼働率は前年 77.3%から 87.5%へ+10.2%となった。100%を上限とする稼働率は 67.0%、前年比+9.8%。特養の短期入所空床利用増加したため年度末の稼働率が下がっている。



・ 在宅介護の継続支援(定期的・緊急時の利用対応)

定期利用者は月平均 30名(男性 8名、女性 22名)、緊急利用は 4名(男性 1名、女性 3名)、いずれも主介護者の緊急入院であった。

III. クレーム対応・・・平成 28 年度は苦情報告なし。

IV. 医療機関受診事故・・・1件

平成28年9月3日(土) 13:00頃発生 要介護5 83歳 女性

入浴準備のため脱衣した際、胃ろう部の接続チューブがないことを発見。看護職が応急処置をし、かかりつけ医の往診受けるも、時間の経過で再接続できず。胃ろう部再増設となる。事故の原因は、他の短期入所利用者(女性 71歳 要介護4 認知症度IV)が接続チューブを持っていたのを発見。両者への職員の見守りが行き届かず、抜かれたものと思われる。

平成28年9月6日 広島市報告

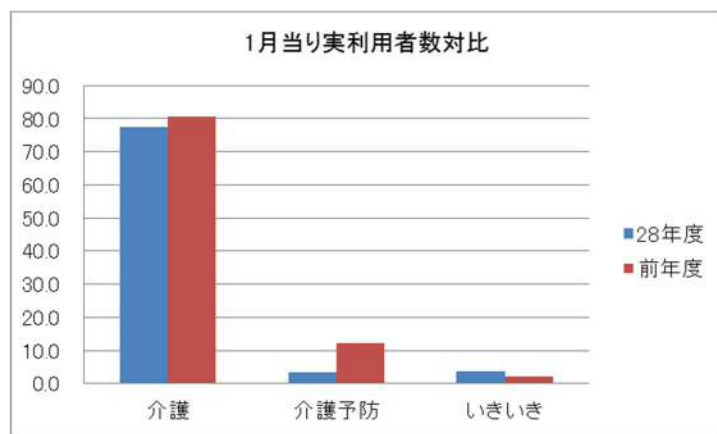
3. 陽光の家 通所介護事業所

I. 利用者の状況

(ア) 1月当たり平均実利用者数

平成28年度の新規契約者は24名(うち介護22名、介護予防2名)廃止37名。1月当りの平均利用者数は、合計10.5名の減少となった。

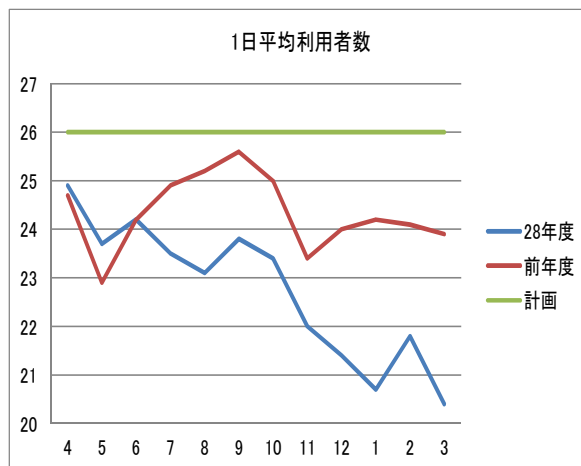
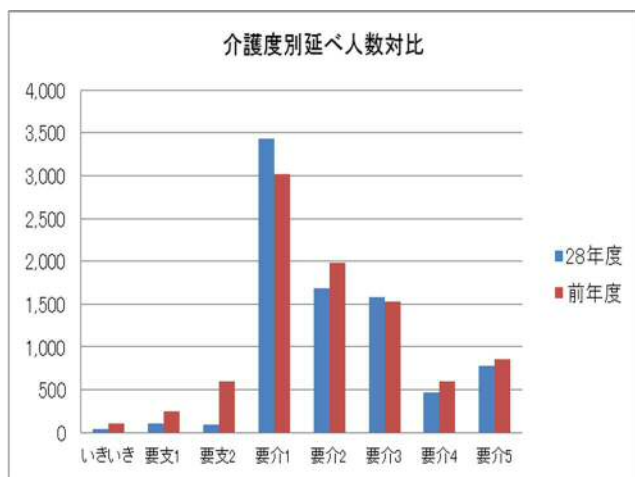
	介護	介護予防	いきいき	合計
28年度	77.6	3.3	3.8	84.7
前年度	80.6	12.3	2.3	95.2
対比	▲ 3.0	▲ 9.0	1.5	▲ 10.5



(イ) 介護度別延べ人数対比

延べ人数は、前年度から753名減、1日当りの利用人数は22.4名で前年比▲2.1名となった。介護度別では、要支援1・2が655名減少し、減少分のほぼ9割を占める。

介護度	いきいき	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計	1日平均利用者
28年度	46	101	88	3,428	1,690	1,577	474	775	8,179	22.4
%	0.6	1.2	1.1	41.9	20.7	19.3	5.8	9.5	100.0	
前年度	103	247	597	3,023	1,979	1,534	592	857	8,932	24.5
%	1.2	2.8	6.7	33.8	22.2	17.2	6.6	9.6	100.0	
対比	▲ 57	▲ 146	▲ 509	405	▲ 289	43	▲ 118	▲ 82	▲ 753	▲ 2.1



II. 職員の状況

生活相談員 2名は、介護職を兼務している。介護職の採用・退職は、派遣職員のみ。

通所介護 職種	平成28年度期首(4月)			H28年度期中		平成28年度期末(3月)			配置 基準	
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算		
生活相談員	3	0	2.0	0	0	3	0	2.0	1	
看護職	3	1	2.8	0	0	3	1	2.8	1	
内 訳	正看護師	2	1	1.8	0	2	1	1.8		
	准看護師	1	0	1.0	0	1	0	1.0		
機能訓練指導員	1	0	1.0	0	0	1	0	1.0	1	
介護職	8	2	8.4	2	2	8	2	7.8	5	
内 訳	介護福祉士	5	0	6.0	1	1	5	0	6.0	
	その他	3	2	2.4	1	1	3	2	1.8	
運転手	2	2	0.3	0	2	0		0		
小計	17	5	14.5	2	4	15	3	13.6		

III. 平成 28 年度事業計画の実施状況について

- 介護給付利用者 22名(365日稼働)・・・実績 21.8名
 予防給付利用者 5名(月～金曜日稼働)・・・実績 0.7名
 実利用者 100名 新規利用者 45名獲得・・・実績 実利用者数 85名 新規利用者数 26名
 機能訓練加算Ⅱ(利用率40%)・・・平成29年3月末時点 31名 44.3%
 中重度者ケア体制加算・・・平成29年3月末時点 要介護3以上 31名 38.8%
 認知症加算・・・平成29年3月末時点 認知症自立度Ⅲ以上 34名 43.6%

① 生活機能向上に向けた心身機能、活動、参加の実践

- ・ 通所介護計画書・機能訓練計画書に沿ったサービス提供の徹底
- ・ 生活機能の維持・向上を目指す個別機能訓練Ⅱの実施体制強化

② 腰痛予防・抱えない介護の実践

- ・ 移動リフトの操作と活用

平成 29 年 3 月時点の移動リフト利用者 0 名

- ・ スライディングボードの操作と活用

平成 29 年 3 月時点のスライディングボード利用者 6 名 スライディンググローブ利用者 4 名

介護機器等の取扱い 直接処遇職員 全員(9 名)利用方法習得済み

③ 家族介護の負担軽減への支援

- ・ 365 日稼働、長時間延長の実施と夕食サービスの提供

長時間は 4 件対応。独居者や家族の都合で夕食を提供するサービスは、実利用者数年間 18 名、3 月は 8 名が利用、延べ数は 857 食と前年より+49 食となった。

所要時間	2～3時間	3～5時間	5～7時間	7～9時間	9～10時間	合計	夕食サービス
28年度	70	630	4,968	2,345	4	8,017	857
	0.9	7.9	62.0	29.3	0.0	100	
前年度	0	997	3,903	3,090	0	7,990	808
	0	12.5	48.8	38.7	0.0	100.0	

- ・ 中重度の対象者であっても社会性の維持を図り在宅生活の継続のケアを計画的に実施するプログラムの作成

- ・ 認知症の症状の進行の緩和のケアを計画的に実施するプログラムの作成

認知症予防(48 合わせパズルの実践など)

④ 計画的な研修計画の実施

- ・ 通所サービスの理解と実践

- ・ 業務マニュアルの見直しと活用

テーマ	実施日	参加人数
ケアプランと通所介護計画書の作成意義と理解	4/14	10
通所介護実践と評価	5/16	8
機能訓練の意義と機能訓練Ⅰ、Ⅱの違い	6/22	8
契約に至るまで。契約書内容説明	7/20	9
移乗・移動の介護	8/24	10
介護技術の勉強会 入浴介助No.1	9/28	9
介護技術の勉強会 入浴介助No.2	10/19	9
介護技術の勉強会 食事介助(咀嚼・嚥下)	11/23	9
介護技術の勉強会 排泄介助No.1	12/21	7
介護技術の勉強会 排泄介助No.2	1/25	11
介護技術の勉強会 認知症の理解 No.1	2/22	12
介護技術の勉強会 認知症の理解 No.2	3/29	11

IV. クレーム対応・・・平成 28 年度は、苦情報告なし。

4. 陽光の家 訪問介護事業所

I. 利用者の状況

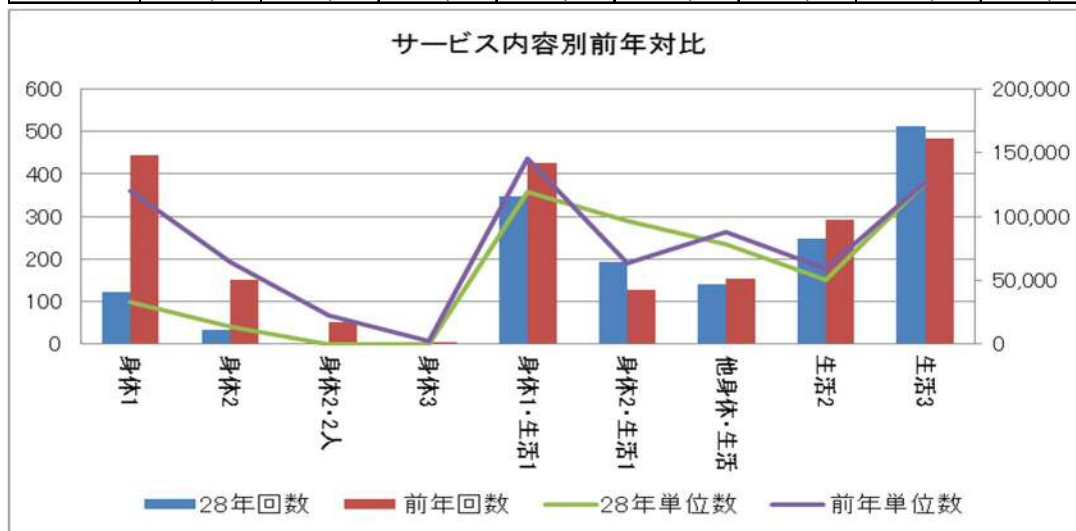
(ア) 実利用者数と延べ訪問回数の前年対比

平成 28 年度の新規契約者数は、7 名(うち介護 3 名、介護予防 3 名、自費 1 名)廃止は 10 名であった。実利用者数の前年対比は、下表のとおり。前年度 37.8 名から 30.0 名と 7.8 名減少した。

実利用者数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
28年度	35	33	34	33	30	29	27	28	28	30	28	25	30.0
前年度	41	37	37	40	39	39	39	36	36	35	37	38	37.8

介護保険サービス内容別訪問回数と算定単位数を前年と対比してみると、身体介護の利用者が利用廃止で大幅に減少、前々年度から身体介護と生活援助の複合サービスが増加している。

区分	身体1	身体2	身体2・2人	身体3	身体1・生活1	身体2・生活1	他身体・生活	生活2	生活3
28年回数	121	32	0	0	347	192	140	248	513
前年回数	445	151	52	3	425	126	153	292	484
対比	▲ 324	▲ 119	▲ 52	▲ 3	▲ 78	66	▲ 13	▲ 44	29
28年単位数	32,670	13,664	0	0	119,021	96,192	77,837	49,848	127,224
前年単位数	120,150	64,477	22,204	1,860	145,775	63,126	88,234	58,692	126,880
対比	▲ 87,480	▲ 50,813	▲ 22,204	▲ 1,860	▲ 26,754	33,066	▲ 10,397	▲ 8,844	344



II. 職員の状況

平成 28 年度は、期中の入れ替わりがあったが、職員体制の大きな変化はない。

訪問介護	平成28年度期首(4月)			H28年度期中		平成28年度期末(3月)			
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算	
訪問介護員	6	4	3	2	2	6	4	3.2	
内訳	介護福祉士	4	2	2.8	1	1	4	2	2.9
	その他	2	2	0.2	1	1	2	2	0.3

III. 平成 28 年度事業計画の実施状況について

● 訪問件数月間目標

	介護	予防	障害	合計
事業計画	180	100	20	300
実績	132.8	91.2	31.5	255.5
対比	▲ 47.2	▲ 8.8	11.5	▲ 44.5

① 計画的な研修計画の実施

- ヘルパーごとに研修計画作成

個別研修は、各ヘルパーの能力に応じ、目標を設定し、四半期ごとに段階を設け行った。

技術研修は下表のとおり

研修項目	実施日	参加人数
昨年度の実績統計報告と今年度の事業計画報告	4/5	6
ヘルパーができること	5/10	6
食中毒への予防と対策 生活援助「掃除」	6/7	6
認知症高齢者への理解	7/5	6
認知症高齢者の理解援助	8/9	6
高齢者虐待について	9/6	5
生活援助で心掛けること	10/4	4
感染症対策と対応	11/8	6
介護におけるプライバシーの保護	12/6	5
身体介護 おむつのあて方、選び方		
困難事例検討	1/10	4
予防支援・地域包括ケアについて①	2/7	4
予防支援・地域包括ケアについて②	3/7	4

- 腰痛予防(抱えない介護の実践)

抱える介護を伴う身体介護サービスがなく、作業姿勢等については各ヘルパーで工夫して行った。

② 定期的な会議の開催とサービスの質の向上

- 利用者に関する情報やサービス提供に当たっての留意事項の伝達及び技術指導等
- 文書による指示及びサービス提供後の報告
- カンファレンスの実施
- 介護手順の徹底

毎月第一火曜日に定例会議を開催。利用者に関する情報共有やサービス提供に当たっての留意事項、研修を行った。

③ ヒヤリハット報告の実施

- 事故予防対策・サービスの改善

月1回のヘルパー会議で報告。予防対策の検討を行った。

④ 人材の確保

- 登録型ホームヘルパーの増員(非常勤)・・・できず

IV. クレーム対応・・・平成 28 年度は、苦情報告なし。

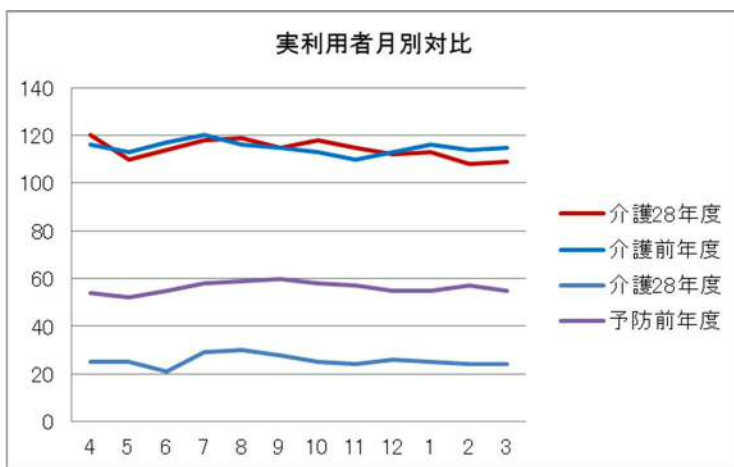
5. 陽光の家 居宅介護支援事業所

I. 利用者の状況

(ア) 実利用者数（介護）（介護予防 各地域包括支援センターより受託）

平成28年度の介護新規契約者は33名、廃止27名となった。1月当たりの件数は、114.3件。前年度より月平均0.4件減少。介護予防給付は、月平均25.5件。前年より30.8件減少している。これは、法人内事業所の広島市城山・五日市観音地域包括支援センターへの職員異動により、介護予防支援委託数が減少したため。

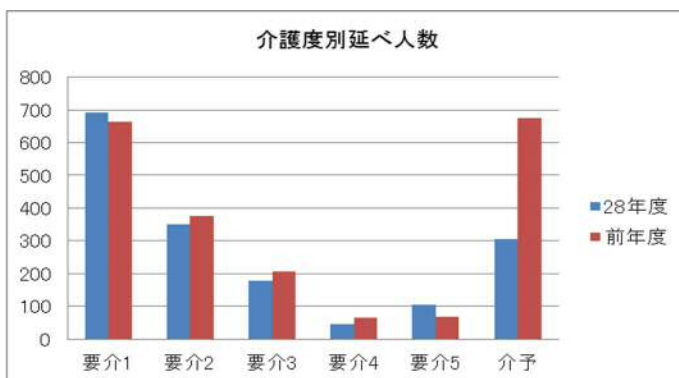
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
介護28年度	120	110	114	118	119	115	118	115	112	113	108	109	114.3
介護前年度	116	113	117	120	116	115	113	110	113	116	114	115	114.8
介護28年度	25	25	21	29	30	28	25	24	26	25	24	24	25.5
予防前年度	54	52	55	58	59	60	58	57	55	55	57	55	56.3



(イ) 介護度別延べ人数

前年対比で介護予防が369件減少、要介護は全体で7件の減少に止まった。

介護度	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	介予	合計	1ヶ月平均
28年度	692	351	179	45	104	306	1,677	139.8
%	41.3	20.9	10.7	2.7	6.2	18.2	100	
前年度	663	377	206	64	68	675	2,053	171.1
%	32.3	18.4	10	3.1	3.3	32.9	100	
対比	29	▲26	▲27	▲19	36	▲369	▲376	



II. 職員の状況

4月に人員の異動があったが、年間を通じて変化なし。

居宅介護支援	平成28年度期首(4月)			H28年度期中		平成28年度期末(3月)			
	職種	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算
介護支援専門員		4	1	3.7	0	0	4	1	3.7

III. 平成28年度事業計画の実施状況について

● 利用件数月間目標

	介護給付	予防給付	認定調査
事業計画	120	30	8
実績	114.3	25.5	12.7
対比	▲ 5.7	▲ 4.5	4.7

特定事業所加算Ⅲ を 算定

① 住み慣れた地域で継続的な生活を支援

- ・ 要介護度の維持・改善を目指した自立支援型ケアマネジメント
【介護認定更新時の要介護の維持改善】・・・更新100件中 改善14件 維持46件 悪化40件
【自立支援型のケアマネジメントの作成】・・・プラン作成 介護142件 予防30件
【定期的なカンファレンスの開催】・・・年間50回
【24時間対応相談における対応】・・・夜間の電話対応等 年間27件
- ・ 健康状態の維持安定(主治医との連携)
- ・ 地域のインフォーマルサービスの情報収集と活用

② 質の高いケアマネジメント

【介護支援専門員ごとの研修計画の策定】
 事業所内研修 51回 施設内研修 25回 施設外研修 73回

③ 医療機関、事業所との連携

- ・ 地域包括支援センターからのケース紹介・・・年間21件紹介を受け、すべて対応
【要支援認定・要介護認定者の円滑な受け入れ】
- ・ 中重度者・支援困難ケースの積極的な介入、対応
【支援困難者へのケアマネジメント】
 地域包括支援センターへの相談 4名 7回
 24時間対応 時間外の対応 27回
 医療機関からの退院支援
【病院地域連携室との連携、退院者の在宅への円滑な支援】
【サービス担当者会議での主治医の参加調整】・・・サービス担当者会議87回 医師の参加14回

IV. クレーム対応・・・平成28年度は、苦情報告なし。

6. 広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

I. 事業実施状況

事業実施場所：広島市佐伯区千同一丁目 30-6 高東ビル1階

圏域：広島市立城山中学校及び同五日市観音中学校 校区内

圏域高齢者人口：8,659人 高齢化率：27.0%（平成28年9月現在）

		八幡	観西	観音	合計
高齢者人口(人)	H28.9	3,432	2,361	2,866	8,659
	H27.9	3,295	2,278	2,790	8,363
	対比	137	83	76	296
高齢化率(%)	H28.9	30.5	27.6	23.4	27.0
	H27.9	29.2	25.8	22.9	25.9
	対比	1.3	1.8	0.5	1.1

高齢者人口が8,000人を超え、平成28年度より地域包括支援センター運営業務の必置職員を4人から5人へ増員することとなった。下表は、広島市受託事業一覧。「広島市地域包括支援センター運営業務(包括的支援事業)」の受託金額は、年度当初29,946,000円であったが、7月から高齢者地域支え合い事業のため主任介護支援専門員を1名増員することができ、契約額が4,188,000円増額の34,134,000円となった。

受託業務名	28年度	27年度	対比
広島市地域包括支援センター運営業務(包括的支援事業)	34,134,000	24,579,000	9,555,000
広島市地域介護予防拠点整備促進事業	6,579,000	0	6,579,000
広島市特定高齢者把握事業(単価契約)	226,300	338,680	▲112,380
広島市地域介護予防推進事業(単価契約) 1回60,000円×24回	1,440,000	1,440,000	0
広島市高齢者いきいき活動支援訪問事業(単価契約)	0	0	0
合計	42,379,300	26,357,680	16,021,620

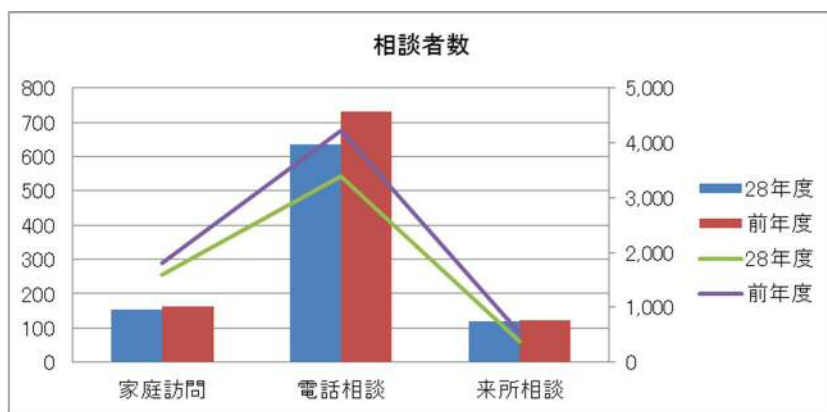
① 広島市地域包括支援センター運営業務(包括的支援事業)

総合相談・支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業

ア. 相談件数

前年と対比すると、実人数で▲10.4%、延べ人数では▲18.3%減少。相談方法は、いずれも電話が最も多く6割以上を占める。

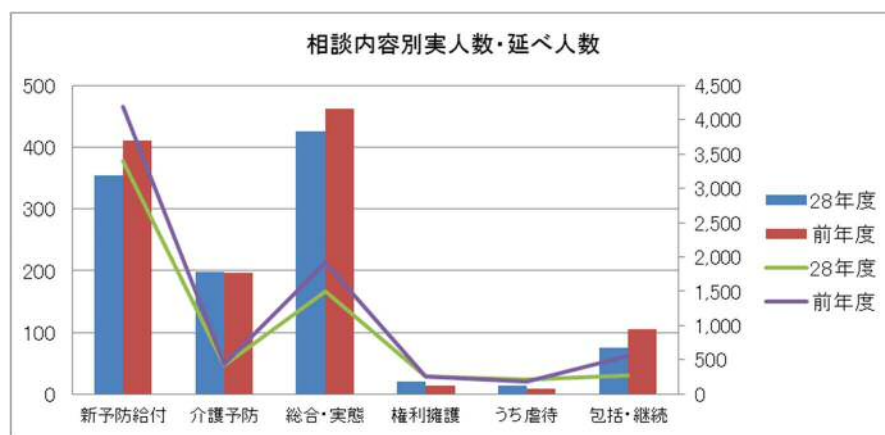
相談方法	実人数			延べ人数		
	28年度	前年度	対比	28年度	前年度	対比
家庭訪問	154	164	▲10	1,589	1,811	▲222
電話相談	637	730	▲93	3,397	4,219	▲822
来所相談	118	121	▲3	371	530	▲159
合計	909	1,015	▲106	5,357	6,560	▲1,203



イ. 相談内容

実人数では総合相談・実態把握が最も多く全体の 39.6%を占め、延べ人数では、介護保険制度の要支援1及び2の方への介護予防給付に関することが最も多く 58.1%を占める。

	実人数			延べ人数			
	28年度	前年度	対比	28年度	前年度	対比	
介護予防支援業務(新予防給付)	354	411	▲ 57	3,398	4,188	▲ 790	
包括的支援業務	介護予防ケアマネジメント(特定高齢者)	198	196	2	418	442	▲ 24
	総合相談・実態把握	425	462	▲ 37	1,495	1,914	▲ 419
	権利擁護	21	14	7	264	260	4
	うち 高齢者虐待相談人数	13	8	5	214	182	32
	包括的・継続的ケアマネジメント	76	105	▲ 29	270	558	▲ 288
合計	1,074	1,188	▲ 114	5,845	7,362	▲ 1,517	



② 広島市特定高齢者把握事業

平成 28 年度事業実施状況

	28年度	前年度	対比
特定高齢者の判定	195	191	4
プログラムの判定(初回分)	15	37	▲ 22
プログラムの判定(継続分)	22	19	3
金額	226,300	452,160	▲ 225,860

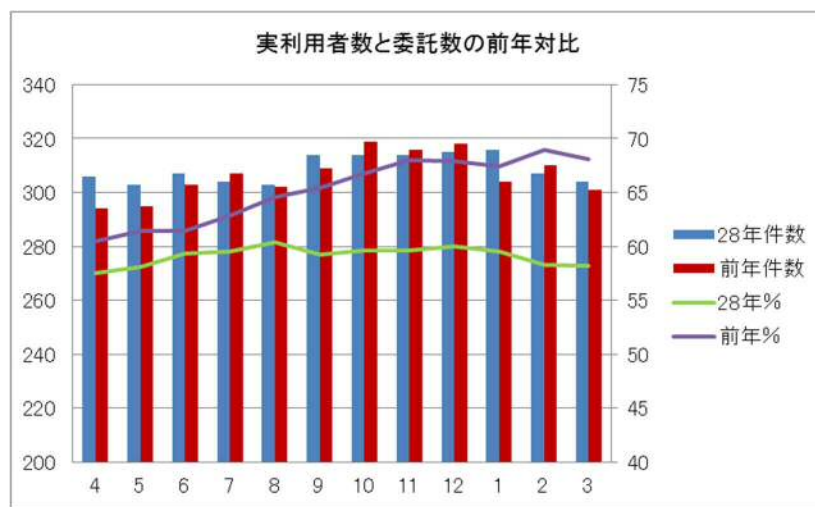
(1) 介護予防支援業務

① 利用者の状況

(ア) 利用者数月別推移と外部委託件数

28年度は、1月当たりの平均利用件数で、前年を2.4件上回っている。外部委託件数は、職員増加により平均17.7件減少しており、委託比率は59.1%で、前年比5.5%減。

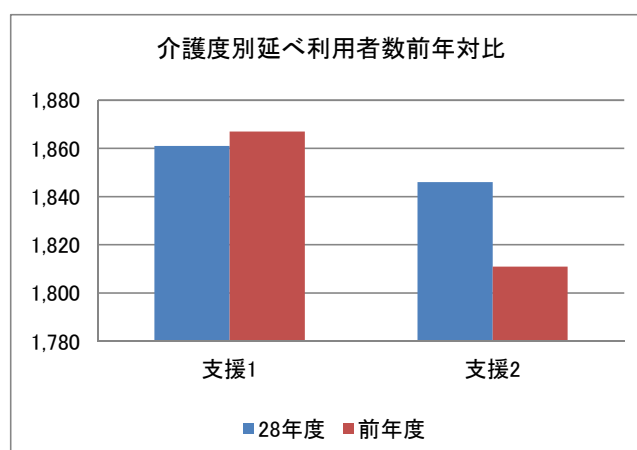
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
28年件数	306	303	307	304	303	314	314	314	315	316	307	304	308.9
28年委託	176	176	182	181	183	186	187	187	189	188	179	177	182.6
28年%	57.5	58.1	59.3	59.5	60.4	59.2	59.6	59.6	60	59.5	58.3	58.2	59.1
前年件数	294	295	303	307	302	309	319	316	318	304	310	301	306.5
前年委託	178	181	186	193	195	202	213	215	216	205	214	205	200.3
前年%	60.5	61.4	61.4	62.9	64.6	65.4	66.8	68	67.9	67.4	69	68.1	65.4



(イ) 介護度別利用者延べ利用者数前年対比

介護度別では、要支援2が35件増加、全体で29件増加となった。

介護度	支援1	支援2	合計
28年度	1,861	1,846	3,707
%	50.2	49.8	100
前年度	1,867	1,811	3,678
%	50.8	49.2	100
対比	▲ 6	35	29



II. 平成28年度事業計画の実施状況について

1. 在宅医療・介護連携の推進

「生活期・回復期連携推進会議の開催」 年3回(6月・10月・2月)

平成 28 年度会議実施状況等

	内 容	日 時	場 所	人 数
1	模擬カンファレンス	6月25日	佐伯区役所別館	40
2	五日市包括合同「安心してできる佐伯区になろう」	8月27日	〃	18
3	模擬カンファレンス、情報シートの提案	10月20日	石内福祉センター	57
4	入院時情報提供作成会議	1月12日	佐伯区役所別館	7
5	〃	2月2日	〃	4
6	歯科医師講義、グループワーク	2月22日	石内福祉センター	42
7	入院時情報提供作成会議	3月7日	佐伯区役所別館	5

2. 介護予防の推進

(1) 地域介護予防推進事業 年24回

<開催場所別>

場所	回数	人数
八幡公民館	6	125
観音台公民館	5	111
坪井荘	3	107
三宅中集会所	2	91
薬師が丘第一集会所	1	32
坪井公民館	1	30
緑ヶ丘会館	1	23
千同集会所	1	22
折出会館	1	17
八幡荘	1	14
池田地集会所	1	11
みんなのわが家	1	11
合計	24	594

<実施内容別>

区分	回数	人数
運動	11	279
認知機能	9	242
栄養	2	23
口腔	2	50
計	24	594

(2) 地域介護予防拠点整備促進事業で介護予防拠点の立ち上げ支援<新規事業>

地域内近隣者における自助活動グループ(運動が出来る通いの場)として立ち上げ支援を行い、介護予防拠点と位置づけた。事業開始当初は、圏域内2ヶ所程度の立ち上げ支援の目標を掲げ事業開始した。

(3) 「地域社会資源マップ」の作成、配布

地域の関係団体、地域サロン等の把握を行い、地図上にて圏域の各学区の社会資源マップを作成。

関係団体代表 183部 各自主グループ 70部 圏域事業所ケアマネジャー 7部配布を行い活用してもらおう。

3. 高齢者地域支え合い事業の推進<新規事業>

7月より新たに職員を1名配置し、圏域3小学校ごとに事業展開を目標に事業開始する。五日市観音、観音西、八幡学区の関係機関、町内会に事業について説明会を行い、観音西学区において事業準備委員会の立ちあげ支援を行った。次年度、観音西学区において支え合い事業開始予定。

4. 認知症地域支援体制づくりの推進

(1) 「認知症予防研修会」 年3回(各学区1回)

(2) 認知症に関する知識の普及啓発

「認知症サポーター養成講座」 必要な地域で実施

「地域ケア会議」 年4回(各地域開催支援)

	内 容	日 時
1	観音三役会議(社協、民児協、包括) 拠点事業、支え合い事業について	8月24日
2	観音三役会議 支え合い事業の説明	11月25日
3	八幡町内会会議 支え合い事業の説明	12月10日
4	観音西(町内会長、地区社協、民生委員、老人クラブ) 地域介護予防拠点整備促進事業・高齢者支え合い事業	12月11日
5	観音西(町内会長、地区社協、民生委員、老人クラブ) 高齢者支え合い事業	1月14日
6	八幡社協 近隣ミニネット研修会 地域包括ケアシステムの構築について	2月4日
7	観音三役会議 住民型サービスについて	2月24日

「居宅介護支援事業所ケアマネジャー事例検討会」 毎週第2火曜日 13:30～

6/14(5)、7/12(5)、8/9(5)、9/13(4)、10/11(5)

11/8(5)、12/13(15)、1/10(5)、2/14(5)、3/14(5) 計10回実施 ()は参加人数

5. 居宅の介護支援専門員への実践力向上支援や支援困難ケースへのサポート

「ケアマネ自主勉強会」(世話人会への参加) 毎月

	内容	日時
1	世話人会	6月1日
2	世話人会	7月6日
3	アルツハイマーデー	9月8日
4	事業所説明会	10月19日
5	ステップアップ研修	11月22日
6	介護保険Q&A	12月20日
7	高齢者虐待	1月17日
8	成年後見	2月21日
9	医師会交流会	3月17日
10	総合事業説明会	3月22日

「主任介護支援専門員ネットワーク研修会」 年6回(偶数月)

	内容	日時
1	意見交換会	4月14日
2	事例検討	6月9日
3	研修会「効果的なインテーク面接について(実践編)」(吉川先生)	8月5日
4	事例検討	9月15日
5	研修会「困難事例の特徴と対処法」(金子先生)	10月5日
6	事例検討	11月10日
7	事例検討	1月11日
8	事例検討	3月9日
9	研修会「主任CMとして地域をとらえる視点と方法」(丸山先生)	3月15日

「処遇検討会・個別地域ケア会議」 随時

5/17、6/1、12/1、12/8、2/22 計5回実施。

生活保護、身分保障、虐待対応等 行政、医師、ケアマネジャー、地域住民参加

6. 総合相談業務、権利擁護業務

平成28年度消費者被害予防研修会 年4回開催

平成28年度高齢者虐待研修会 年2回開催

III. 職員の状況

4月に人事異動で、主任介護支援専門員(センター長を兼務)と保健師を各1名増員で8名体制となる。

7月に新たに主任介護支援専門員を増員、非常勤の事務職員を陽光の家へ異動。

地域包括	平成28年度期首(4月)			H28年度期中		平成28年度期末(3月)		
	人数	内非常勤	常勤換算	採用	退職	人数	内非常勤	常勤換算
保健師	2	0	2.0	0	0	2	0	2.0
社会福祉士	2	0	2.0	0	0	2	0	2.0
主任介護支援専門員	2	0	2.0	1	0	3	0	3.0
介護支援専門員	1	0	1.0	0	0	1	0	1.0
事務員	1	1	0.6	0	1	0	0	0
合計	8	1	7.6	1	1	8	0	8.0

IV. クレーム対応・・・平成28年度は、苦情報告なし。